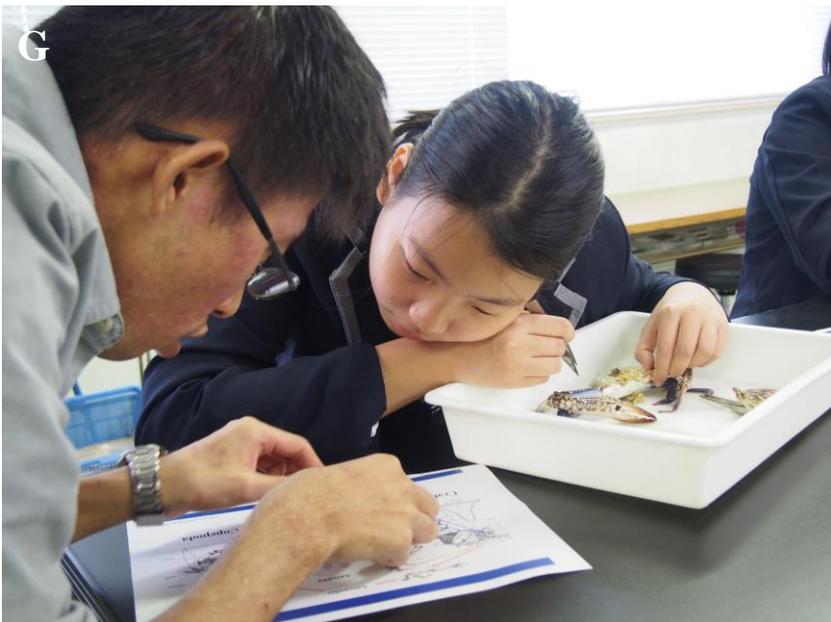


2019年(令和元年)10月19日(土)

JSTさくらサイエンスプランの一環として、中華人民共和国重慶市の重点中学(日本の中高一貫校に相当)から学生9名と教員1名が竹原ステーションに来所しました。写真は竹原ステーションで行った実習風景。



近藤助教による講義風景, 講義内容: 甲殻類を中心にした節足動物の多様性について (A-C).



ワタリガニを用いた解剖実習風景「カニの付属肢の観察」(D-I).

実習に先立ちカニ付属肢について実習生にレクチャーする近藤助教(D). 実習中実習生に適宜アドバイスを行う学生TA(E, G).

カニの付属肢を摘出し観察する実習生ら(F, I).

*実習生らは、自分が摘出した付属肢を同じテーブルの実習生と確認し合っていました。



コペポータを用いた解剖実習風景「カニとコペポータについての付属肢の相同性観察」(J-O).
顕微鏡下でコペポータの付属肢の解剖を行う近藤助教(J). 顕微鏡のモニターを使いコペポータの付属肢とカニのそれについて実習生らに解説する近藤助教(K).
解剖された付属肢を顕微鏡観察する実習生(L). コペポータの付属肢を解剖・観察する実習生ら(M,N)とそれをサポートする学生TA(O).



*本実習中小雨が降っていましたが、適宜スタッフ入るなど乗船に当たっては十分に配慮し行われました

実習船「からぬす丸」を用いたプランクトン採集実習風景 (J-O).
からぬす丸乗船風景 (P). 採集したプランクトンを観察する実習生 (Q). 岩崎船長によるブリッジ (船橋) 内機器および操船に関する解説 (R).
からぬす丸下船風景 (S). 本実習に参加した重慶市の重点中学の学生と担当スタッフ (T).